



図書館だより

瀬戸内町立図書館（瀬戸内町古仁屋 1283-17）



お知らせ

長かった梅雨が明け、夏がやってきました。夏といえば海！ということで、シーカヤックやダイビング、魚釣りなど、海を楽しむ本を展示しています♪ また、マリンレジャーだけでなく、大島海峡で見つけた新種の「アマミホシゾラフグ」の本もあります。魚の図鑑を眺めるだけでも、涼しげな様子に癒されますよ！

ボランティア養成講座開催します！

図書館をサポートしてくれるボランティアさんを育てる講座を、**8/11・12** の二日間、開催します！読み聞かせのコツや本の並べ方、修理の仕方などのプログラムを予定しています。図書館のお仕事に興味のある方はもちろん、将来保育のお仕事に就きたいと思っている中高生の方みなさんにとっても、読み聞かせを学べる良い実践の機会になると思います。7月の中ごろから、図書館のカウンター、移動図書館、ホームページ等で募集要項を配布予定です。たくさんのご参加お待ちしております！

今月のイチオシ！

『さざなみのよる』木皿 泉/著 913キ

【内容】小国ナスミ、享年43歳。息をひきとった瞬間から、その死は湖に落ちたひと雫の波紋のように、家族や知人へと広がっていき…。命のまばゆいきらめきを描いた感動と祝福の物語。

☆木皿泉の5年ぶり、第2作目となる小説です。前作の『昨夜のカレー、明日のパン』は、第11回本屋大賞で2位にランクインしています。

★FMせとうち（76.8MHz）の図書館・郷土館のラジオ「ブックブックさんみじゃれ」は、毎月第1水曜日の①10:00～②14:30～③20:30～放送中です！次回の放送は**7/4(水)**、**8/1(水)**です。

お庭だより

ハマオモト（ハマユウ） ヒガンバナ科

花期：だいたい6～8月

海岸の砂浜から日当たりのよい草地に生えます。白い花は夜中に咲き、とてもよい香りがします。別名のハマユウ（浜木綿）は、白い偽茎を作る葉を一枚ずつはがして乾かすと、白い洋紙のようなものになることが由来です。



ふむふむ！まめちしき ～「郷土誌のBar」から～

● ユタ ●

「ユタ」は、霊能力で人助けをしている人たちをさす、理念的な総称として使われていたりする言葉です。実際には「ユタ」という言い方はあまりせず、「カミサマ」と呼ばれています。家柄で継承するものではなく、基本的には一代限りです。

ドラマ『西郷どん』でのユタ

ドラマのユタと実際のユタでは、異なる点がいくつかあります。まず、色のついた玉の首飾りをしていましたが、当時、赤や青の玉が手に入ったとは考えにくいです。透明な水晶玉やガラス玉、色つきの小さなガラス玉がありましたが、そのようなものはむしろ、公的に村の幸せを祈る「ノロ」と呼ばれる人たちが持っていたものです。

また、実際には顔に白いメイクを施すこともないようです。

